



# でーれーBOOKS2015



『紙つなげ！彼らが本の紙を造っている』  
佐々涼子 / 早川書房



高校生の皆さん。ノンフィクションは不思議な力を持っています。人は現実と出会って変化し、今度は新しい自分が現実に影響を与える。その奇跡のようなできごとを私は信じています。この本は大勢の人達が被災地からつないだたすきです。きっと読み終わった頃には、皆さんの人生は少し前に進み、世の中は違って見えることでしょう。社会に出る前の皆さんに、この本を手渡せる幸せを感じています。司書の皆さん、このたびは素晴らしい賞をありがとうございました！

著者の佐々涼子さんから  
受賞コメントをいただきました！

おすすめコメント

■本を読んだり、本に携わったりしているのに、それに使われている紙がどこからやってきたかなんて考えたことがなかった。それが東北の町で作られていて、東日本大震災後、その工場が何があったのか…読み終わった後、この本を抱きしめたくなった。■津波にのまれた石巻の製紙工場がなんと半年で工場再開。ライフラインもままならないのに、本を待つ人のためにこんなに力を尽くして下さっていたとは…■本を手にとっても、この紙はどこで作られたか、どういうこだわりがあるのか、なんてことはまず考えない。紙の製造に携わり、熱い想いを持って仕事をしている人がいければ、あのコミックもあの文庫も読めないんですよ。■この本を読んで初めて、本や雑誌で使用されている紙のほとんどが東北で作られていることを知りました。本をよく読む人はもちろん読みたくない人もぜひ読んで欲しい。今、仕事をしている人もこれから社会に出ていく人も、とにかくみんなにこの本を読んでほしい。そして東日本大震災のこと、その後の復興についてみんなで考え続けたい。■震災のような状況に置かれても、そのような状況だからこそ、人は書物を欲するんですね。ページを撫でながら本を読んだのは初めてでした。■目の前にあるの気がつかない、私たちの暮らしを支えているもの。「当たり前」過ぎて見過ごしているものがまだあるに違いない。■この本は、外せないかなあ。震災関連でいると本が出てくる中でも、本を扱う私たちにとっても切り離せない題材で、紹介するにも説得力というか熱が入る感じもします。■紙が東北で作られている事や本の紙も各出版社によってこだわりの指定がある事など知りませんでした。『たとえ廃棄する紙であっても決して靴では上がらない』と言うところに感銘を受けました。■ノンフィクションを読むことの面白さが伝わりやすい作品だと思います。読者をグイグイ引き込む勢いがあって、一気に読みたくなります。■「本が好き」「将来は本に関わる仕事がしたい」という生徒に。作家、編集、本屋さん、図書館で働くことを考えている生徒は多い。そんな生徒に一番最初の「紙」を造る仕事について、知って欲しい。■本を読む人も読まない人も本当に読んでほしいと思う一冊。■今まで知らなかった！一冊の本が手元にあることの素晴らしさを感じました。■東北で作られている物がたくさんあるのだと震災後に知りました。紙もということをご本で知りました。本は紙が好きと言うこともあり紙にますます興味を持った作品です！！■本を…紙を造っている人の気持ちが伝わる。もつと本が好気になる、もつと本を大事にしたくなる。1冊でた■震災後、誰もがそれぞれの立場で闘っていたと思います。色んな仕事や状況があること、頭では分かっている、もつと本を開くと「全然分かっていなかった」と衝撃を受けます。震災から3年がたった今、「知る」ことこそが震災の被害を受けなかった岡山にいる私たちの任務だと思います。

2



3



4



5



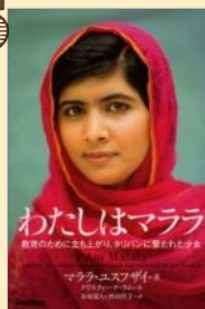
6



6



6



9



10



でーれーBOOKSは、岡山県の高校図書館関係者によるおすすめ本コンテストです。  
平成26年度は、「読書は小説だけじゃない！」をキャッチフレーズに  
小説以外のおすすめ本を対象として行い、1月に大賞が決定しました。  
(主催：ネットワーク研究委員会)

- 大賞 『紙つなげ、彼らが本の紙を造っている』 佐々涼子 / 早川書房
- 2位 『センスは知識からはじまる』 水野学 / 朝日新聞出版
- 3位 『いのちの花』 向井愛実 / WAVE出版
- 4位 『ナウシカの飛行具、作ってみた』 八谷和彦, 猪谷和子 / 幻冬舎
- 5位 『跳びはねる思考』 東田直樹 / イーストプレス
- 6位 『子どもはなぜ勉強しなくちゃいけないの?』 おおたとしまさ / 日経BP社
- 6位 『10代のうちに知っておきたい折れない心の作り方』 水島広子 / 紀伊國屋書店
- 6位 『わたしはマララ』 マララ・ユスフザイ / 学研パブリッシング
- 9位 『熱く生きる』 天野篤 / セブン&アイ出版
- 10位 『大人はどうして働くの?』 宮本恵理子 / 日経BP社